

# 第26回国際冷間鍛造グループ総会

大阪大学 基礎工学部

教授 小坂田宏造

(平成4年度国際会議等開催準備助成 AF-92048)

1. 開催日時：1993年9月12日～9月23日

2. 開催場所：大阪府豊中市千里中央  
千里ライフサイエンスセンター

### 3. 国際会議報告：

第26回国際冷間鍛造グループ総会は、平成5年9月13日から9月23日まで大阪府豊中市において開催され、海外からの33名を含む50名近い会員及びゲストが参加した。国際冷間鍛造グループは冷温間鍛造の基礎知識および応用技術に関して、情報交換・共同の研究調査を行うとともに、成果の出版などを通じてこの技術の世界的な普及啓蒙を行うことを目的としている。会員は21ヶ国約50名に限定されており、会議の出席者は会員とその招待者のみである。参加者の多くは各国の指導的な立場に居り、会議の影響は非常に大きい。

日本は冷間鍛造技術の後発国としてこのグループに参加してきたが1980年代には研究、技術の水準、生産量ともに世界のトップレベルになった。このため日本の冷温間鍛造技術に注目が集まり、1993年の開催地についても各国からの要請により、開催を引き受けることになった。この会議

の開催により、わが国の冷温間鍛造関係者が国際的な研究者、技術者と交流でき、わが国の当該分野の発展に大きな刺激になった。

この会議は国内グループとしての日本塑性加工学会鍛造分科会が中心となって実行した。鍛造分科会の前身の冷間鍛造分科会は1988年に設立が決定され、1989年に第1回総会を開催しており、1993年の国際鍛造グループ総会の開催は25周年記念となった。

第26回国際冷間鍛造グループ総会が、大阪府の北部にある千里ニュータウンで開かれた。会議の正式な日程は9月13日から17日の5日間で、本会議と関西地方の工場見学であった。その後ポスト会議があって、9月20日と21日に中部地方、22日と23日に関東地方の工場見学があった。今回の学術発表件数は例年より多く、26件である。また、9月13日にICFGと日本塑性加工学会鍛造分科会の共同会議が開られ、多くの鍛造分科会の会員が参加し、真の交流が行われた。

今回は幸いにして貴財団の御援助を得、前述のような成果を得ることが可能となった。最後に、今般の御援助に対して謝意の表明に代え、本報告の結びとしたい。